

**会社選びのポイント、就活生は「安定・安泰」がトップで6割、転職経験者は「業務内容」を重視
- 仕事に関する調査 -**

インターネット調査会社の株式会社マーシュ(東京都世田谷区駒沢、代表:町田正一)は、一都三県に在住する「大学生」「給与所得者」「求職中・無職・就職浪人」の方を対象にインターネット調査を実施しました。
実査期間:2011年12月16日～12月21日

〔 調査結果概要 〕

今月は、「仕事に関する調査」ということで、仕事選びにおける重視点や転職回数、転職を考え出した時期など、仕事・転職にまつわることを調査した。

今回の調査結果から最も顕著だったのが、明るい兆しが見えない時世の中で、「就職活動をしている」もしくは「控えている学生」の「安定・安泰」志向の強さである。

彼らが会社選びをする際に惹かれることのトップは、「安定・安泰」で全体の59.8%が回答。また、働く上で「安定・安泰」と「ベンチャースピリット」とどちらを選ぶかと尋ねたところ、91.0%の学生が「安定・安泰」と回答している。ただ、これは学生に限ったことではなく、現在何かしらの給与を得ている人も同様に「安定・安泰」と回答する人が85.7%となる。求職中・無職・就職浪人中の人の「安定・安泰」志向は8割以上といずれも高い。

また、ワーク・ライフ・バランスは、若干ではあるものの仕事重視層がプライベート重視層を上回る。しかし、重視度で見ると、仕事を重視するが平均65.4%なのに対してプライベートを重視するは平均69.9%と、僅差であるがプライベート重視度の方が高い。
また、3.11の大震災後のワーク・ライフ・バランスの考え方を聞いたところ、「プライベートを重視するようになった(計)」は40.8%であった。

先般、総務省が発表した2011年11月の完全失業率は4.5%、また2012年春に卒業する大学生の10月時点での就職内定率は59.9%。
内定率の低さや失業率の改善がない中であっても、企業からの面接や説明会の連絡を受けたにも関わらず断わりもなく行かなかったと回答する人が、全体の2割近くいた。給与所得者に至っては、24.1%と4人に1人は面接や説明会に無断欠席する経験を持つ。

今回の調査内では、「転職をしようと思ったきっかけや出来事」や「仕事に対して考えること」を自由回答で尋ねている。学生、給与所得者、求職中の人、それぞれに異なる特徴が見られ、とても読み応えのある結果となっている。

調査結果詳細 <http://www.marsh-research.co.jp/examine/ex2312.html>

調査名: 仕事に関する調査

調査対象者: 一都三県在住者

サンプル数: 500s

割付: 学生(20～22歳) 100s

給与所得者 365s

求職中・無職・就職浪人 35s

実査期間: 2011年12月16日～12月21日

調査方法: インターネット調査

調査機関: 株式会社マーシュ

調査項目:

- ・基本属性(性別、年代、居住地域、未婚既婚、職業)
- ・ワーク・ライフ・バランスについて
- ・震災後のワーク・ライフ・バランスの考え方の変化
- ・会社選びのポイント
- ・転職回数
- ・転職を考えるまでの期間
- ・転職をしようと思ったきっかけや転職にまつわるエピソード
- ・働く上で・働く中で重視する事項
- ・現在の職場の満足度/転職活動・願望の有無
- ・面接・説明会の出欠席について
- ・女性の退職時期について
- ・「働くこと」の意味とは、仕事に対して考えること

アンケートモニターサイト「D STYLE WEB」会員を対象に実施
【D STYLE WEB】
<http://www.dstyleweb.com/>